

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2025年07月22日

公益社団法人 応用物理学会

リフレッシュ理科教室 WG 代表者 殿

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : [共催] (一社)電気学会東海支部 [後援] 豊里区育成会, 信州大学こどもマイスター教室(CMC) [協賛] 信州先端センサ・システム研究会 (SASS), 持続可能工農技術研究会 (sEAT), IEEE MAG33 Shin-Etsu Section Chapter
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 橋本 佳男 (信州大学)
開催連絡責任者 : 曾根原 誠 (信州大学)
連絡先 : 〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1 W6-109 TEL 026-269-5198 / Email makoto@shinshu-u.ac.jp

以下のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支をまとめてご記載、もしくは会場毎収支のご記載、どちらでも問題ありません。会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上、ご報告ください。
 対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名 : リフレッシュ理科教室 (副題) 2025(令和07)年度学会連携出張リフレッシュ理科教室 (第1回; 穂高豊里会場)	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 123,977 円 (総額 230,000 円)	
開催日 : 2025年06月14日(土)	
開催場所 : 豊里区公民館	
決算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収入	支出
リフレッシュ理科教室補助金 123,977 円	印刷製本費 (資料・チラシ作成等) 0 円
参加費 0 円	賃借料 (会場費・プロジェクター等) 0 円
広告展示料 0 円	会議費 (弁当代等) 0 円
支部分科会からの支援金 0 円	通信運搬費 (郵送料等) 0 円
企業からの協賛金 0 円	消耗品費 (実験材料・文具代等) 123,977 円
	雑費 (交通費) 0 円
	臨時雇賃金【支払人数計0名】(アルバイト賃金等) 0 円
	諸謝金【支払人数計0名】(講師謝礼等) 0 円
	システム利用料 (ZOOM, Webex 他) 0 円
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ) 0 円
合計 123,977 円	合計 123,977 円

決算報告書は、支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**へ各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要です)。講師謝礼金やアルバイト代については、**支払人数**を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室

(副題) 2025(令和 07)年度学会連携出張リフレッシュ理科教室 (第 1 回 ; 穂高豊里会場)

開催日：2025 年 06 月 14 日(土)

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください) :
豊里区公民館

参加者人数：合計 20 名

- 内訳
- ① 児童・生徒 : 13 名 (うち中学生 1 名, 小学生 11 名, 未就園児 1 名)
 - ② 保護者・一般 : 6 名
 - ③ 教諭等 : 0 名
 - ④ スタッフ等 : 1 名

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容をお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

1. 各会場の運営や参加対象などの特徴

長野県の中でも青少年のための科学の祭典などの理科イベントに参加し辛い地域である中信地域の北アルプス山麓の小学校や中学生に通う児童・生徒を主に対象にしたこと。

2. 教育委員会などとの連携

豊里区育成会に後援になって頂いた。

3. 地方公共団体との協力、他の団体との協力

電気学会東海支部に共催、豊里区育成会、信州大学こどもマイスター教室 (CMC) に後援、信州先端センサ・システム研究会 (SASS)、持続可能工農技術研究会 (sEAT)、IEEE MAG33 Shin-Etsu Section Chapter に協賛になって頂いた。

4. 補助金に対する要望事項

次年度以降も理科イベントが希薄な地域を中心に実施したいので本事業を継続して頂きたい。

5. 他支部でも参考になる事項

事前予約制にしたが、その際に学年も尋ねたので、どの学年を中心にどの程度の説明にするかなど事前に検討することができ、相応の結果が得られた。

6. 良かった点

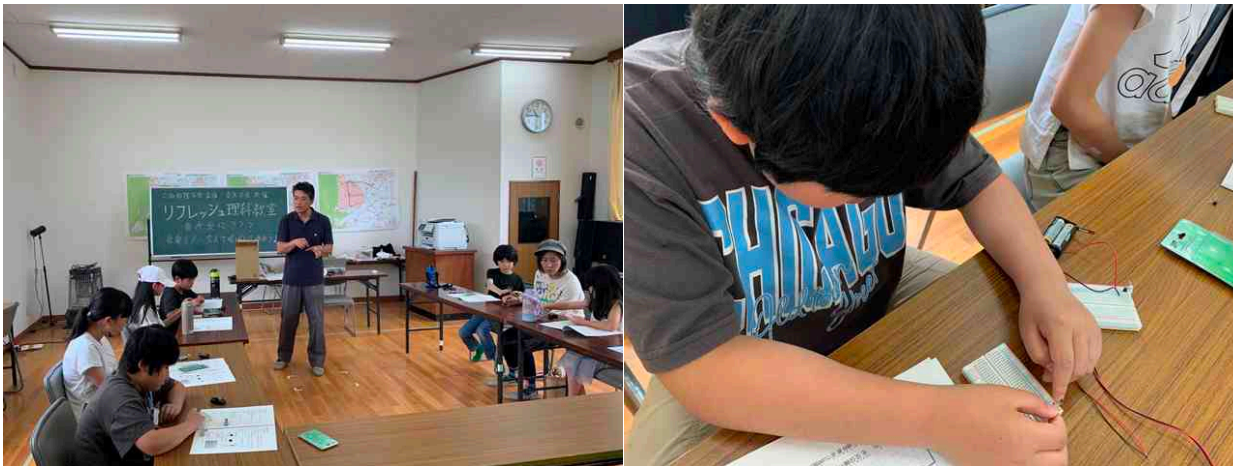
保護者の方にも多数同席して頂き、昨年度までと同様に児童達と共同で参加する形態にしたため、児童だけでなく保護者の方々からも面白かったと好評を頂いた。

予備日を 7 月 22 日(日)に設け、多くの児童に参加してもらえるように配慮した。実施日で都合が悪かった児童 3 名が予備日で参加した。

また、屋外での実験も行ない直射日光を防ぐため簡易的な小屋を作り、熱中症対策を万全に取った。

7. 悪かった点

また、日頃から“モノ”に触る機会が少ない児童が多いように感じ、電子部品の端子(足)を折る児童が数名いた。端子をゆっくり曲げるように口頭で注意を促す必要があった。



第1回；穂高豊里会場の様子

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長にCCで共有の上メール添付（WORD形式）にてご提出ください(原本不要です)。